

第 57 回海外日系人大会、国際シンポジウムでの

スピーチ内容

(前文)

去る 10 月 25 日(火) 東京で開催された上記国際シンポジウムに於いて海外日系人協会からの要請によりパネリストとして参加し下記の表題でのスピーチを致しました。

26 日(水) 夕開催された政府の飯倉公館でのレセプションでは田中海外日系人協会理事長は岸田外務大臣他多くの国務大臣の居られる前で本大会での三つの成果を挙げられました。

幸いにもその三つの内の二つは小職が話しました内容を取り上げて下さいました。

それらは下記の原稿の中からの 1) と 3) であります。

元々海外日系人大会は多くは海外移住者が中心です。ブラジル、ペルー、ハワイ、カナダ等など 4 世、6 世の時代の方々を中心ですが近年はアジア、ヨーロッパにも徐々にウエイトが乗ってきています。

どうぞ会員の皆様も個人でご参加される事が可能ですので機会を捉えてご参加されてください。



飯倉公館

表題「ヨーロッパの日系社会の実情と新日本人」

スピーカー: 英国日本人会会長 佐野 圭作

私は英国在住ほぼ 36 年、人生の半分が在英であります。戦前からの日英の歴史は色々な角度から捉えられますが 403 年前ジェームズ 1 世の書簡を携えた東インド会社のクローブ号が九州の平戸に到着し徳川家康に望遠鏡を手土産にして開港を迫ったと言われています。

降って 1863 年の幕末に長州藩から清国経由でヨーロッパへ派遣された 5 名の長州藩士はロンドンの UCL 大学を中心にヨーロッパの文明を学び日本へ持って帰り近代日本国家の礎を築いたと言われています。

先般 7 月 30 日(土) 麻生副総理のご来臨を賜りロンドンのヘンドン地区にある「皇国同胞の墓」の建立 80 周年記念式典を執り行いました。改めて祖先への崇拝の御心を捧げさせて戴きました。余談ですが、往時の駐英国大使は吉田茂大使で麻生副総理

の祖父に当たられます。このご縁の下、麻生副総理は「祖父吉田茂も孫が頑張っていると喜んでみましょう」と語られ参加者の声援を得ておられました。

さて前置きがながくなりましたがー、本論に入ります。

(1) 日本語教育について、

(学校教育) 何事においてもすべては教育から始まります。

就中、海外では日本語教育が根幹を成すものであります。欧州全域がほぼ同じ様な傾向であろうと推測しますが、ロンドンでは駐在員の子が主の全日制生徒が 400 名弱方や土曜日補習校は 1800 名強と言う現地校に通う生徒が四倍強です。

背景は、20 年前では永住者は 5000 名前後、駐在員、学生他が 20,000 名強でありましたが現在では永住者が 17,000 強、ほぼ同数が駐在員他と言う逆転と成って来ているのと、駐在員も現地校に子弟を入れて日本語を補習校で学ばせると言う現象が大きくなって来ています。

====>文部科学省へのお願いは、これらの補習校の生徒達が今後未来の日本国家戦略に大いに寄与する時代が来る事を早く捉えて強化策を即実行されたい。

(JET プログラム)

多くの有能な現地人を日本に向かい入れて来ていますがもっと彼らが本国へ戻ってから我々が国にとって有効な人的資源として活用する戦略を強化すべきと考えます。

(言葉だけを教育に終わらせない)

もっと日本語を言葉だけのものに止めず“情操教育”も重要な指針と位置づけした言葉教育を創造するべきです。

(2) 現地若者の悩み

日本文化、日本人との接点は自宅での両親、日本人学校、日系 TV、日系の Web サイト、ゲーム等で限定される。

====>魅力ある「コミュニティー センター」の創設が望まれる。世界に創設される「ジャパンハウス」が“単なる日本文化の発信基地”に留まらず、もっとも現地在住の日系社会の人的資源をフルに利用し、真の情報発信基地を作る努力を期待する。日系永住者は圧倒的に日本人は女性です、彼女達のご主人は現地の方々です。

この現地の方々を揺り動かす努力がされればどれだけ日本の力になってくれましょう??

駐在員は日本の大中企業の代理をされ企業社会、経済社会で大いに力を発揮して下さいますが、

Local--Local は我々現地永住者の「未来の二世三世の若者」を引きつけて置かない手は無い。自分の娘を見てもどんどん現地化し、日本への興味は大きくあっても現実は現地化が日本離れになりそうです。日系若者の活用を忘れては成らないでしょう。

(3) 日本の地方創生に役立てられないか？海外からの安い労働力でなく、日本国内の中小企業へ欧州から英語圏から有能な若者(含む日系人)をもっと呼び込む。その背景には人を会社に変えた「JET」プログラム構想が経産省、農林省と組み込みが出来なくは無かろうと考える。

自分は個人的には自分の英国会社を使った日本(東京)への進出もしましたが、他にもっと地方へのパイロットプランも検討しています。日本の地方には大きな宝の山がある様に思っています。



憲政記念館

以上が海外からのメッセージです。ご清聴有難う御座いました。

(注、話の内容は原稿をベースに7分間に亘る話に展開しました)

英国日本人会 会長
佐野 圭作

☆ ☆ ☆

TEAM SMILE

11月20日(日) 13:00より

Swiss Cotage の The Winch (21 Winchester Road London NW3 3NR)

で開催。38名参加で楽しい会になりました。



ナオちゃん(鈴木ナオミ)と、たまちゃん(Tamae Parkerさん)コンビで「たきび」や「もみじ」などの秋の歌、そして「ドレミの歌」などを皆で歌った後、全員参加で、恒例の「はないちもんめ」や「かごめかごめ」で盛り上がりました。おやつ後の、田中さんと、渡辺さんご指導のお習字コーナーでは父兄の皆さんも真剣にお習字の練習

をして子供たちからパパやママに「がんばれ！」のエールが送られていました。最後は、ジャパン祭りソング「IBUKI」を皆で歌って今回も、シニアの皆さんもジュニアの皆さんもニコニコ、ワイワイ楽しく会に参加してくださいました。最初は寒そうだったシニアの皆さんも会が終わる頃は足取りも軽やかに、元気いっぱい会場を後にされました。

イベントの詳細内容と写真はこちらをご覧ください。

<http://ameblo.jp/skt88naomi/>

担当 TEAM SMILE 鈴木ナオミ



☆ ☆ ☆

紅葉会10月の報告

開催日時：2016年10月27日(木)

開催場所：Bloomsbury Baptist Church 4階

司会：ウィンター千津子

受付：川西弘子・メイ系り

お茶当番：竹内みどり・ベラルディー佐和子

会計：フィップス勢津子

報告・写真：八木岡幸枝

第1部 13:45~14:40

1. 新入会員・ゲストの紹介 永井真知子さん

2. 各部報告

事務局：12月2日(金)午後5時30分から日本大使館にてJA 総会・20周年記念祝賀会を開催
墓地管理部：枯れてきている樹齢80年の松の木に栄養剤

福祉部：東西南北見守りプロジェクト・75才以上対象・電話などでつながりを持つプロジェクト・緊急連絡網を作成

忘れな草部：来年5月に発表会

同好会部：詳細は会報参照

3. 皆で歌いましょう

10月の誕生：2名(藤田幸子・ベラルディー佐和子)

10月の歌：2曲 旅愁・もみじ 指揮：田村陽子
ピアノ伴奏：ウィンター千津子

4. ラジオ体操 指導：田中弘子

5. お知らせ Theatre Lapis のレランレナさんからお芝居 The Red Candle Mermaids in the East の案内



第2部 14:50~16:20

今月の特別イベント

演題：新日本民謡考察 その2

講師：廣田丈二氏

日本民謡は私たちと共に長い年月、ものによっては、もう何百年と歩んできたものもあります。それは、その時代時代に生きる人々に、常に寄り添い、共感できる、何か普遍的なものが、メロディーに、詩に歌われているからではないか？つまり、今の私たちにも同じように心に語りかけてくるものがある、ということで廣田氏の解釈と編曲、そして演奏を通じて、もう一度美しくもまた力強い民謡を考え、味わいました。江差追分前唄・こきりこ節・宮城長持唄・さくら変奏曲の熱唱を堪能しました。



(出席者 35名) 敬称略、以上

☆ ☆ ☆

紅葉会からのお知らせ

紅葉会 12 月は、JA20 周年記念祝典が行われますので、お休みです。

1 月の紅葉会は 26 日（木）新年会です。各種の出し物を用意しております。

また、ご案内は来月の会報でお知らせします。会場も通常の Bloomsbury Church に戻ります。

☆ ☆ ☆

会員部からのお知らせ

12 月 2 日（金）総会の前に会員数を確定したく 17 年度会費お支払いをお願いしておりますが残念ながら若干名の会員が未納となっております。11 月末までに小切手（会費プラス延滞金（2ポンド）を加算した金額）に会費納入連絡票を添えて返信封筒で早急にお送り下さい。振込の場合も会費納入連絡票のみご返送ください。又退会を希望される方も必ずご返送願います。

口座名・小切手宛先：Japan Association in the UK

送付先：Mayumi Tobita

71 Hervey Close, Finchley, London N3 2HH

振込先：Nat West Bank, 56-00-23, A/C No 26027607

以上、ご協力の程宜しくお願い致します。

新入会員：なし

退会会員：浅野奈保子（591）、阿南バートレット久仁子（340）、徳永麻子（593）、藤本あかり（603）、

ご逝去：矢沢益江（109）、（敬称略）

現在会員数、E 会員 223 名（内 E プラス 39

名）、一般会員 83 名（名誉会員含）

今月は理事会日程変更の為、「入会申込書」をご送付頂いた会員の皆様はご承認後 12 月の会報に新入会員名が記載されますのでご了承願います。

又、10 月の会報でトムソン美早紀会員（524）のお名前が退会者に記載されましたがこれは誤りですので訂正とお詫び申し上げます。

尚、組織・会則をご希望の方には配信しますのでご連絡下さい。

07931 534 166 会員部 飛田まゆみ

membership@japanassociation.org.uk

☆ ☆ ☆

二水会 10 月の報告

日時：2016 年 11 月 9 日（水）18:30?20:00

会場：St James's Church

演題：『日本と英国の草の根交流のサポート』

講師：Keith Kelly（自治体国際化協会ロンドン事務所）



11 月の二水会では、自治体国際化協会ロンドン事務所で日英の架け橋として活躍されているキースさんをお迎えして、日本と英国の草の根交流のサポートに関して英語でお話していただきました。

キースさんは大学卒業後、英国の銀行でファイナンシャルアドバイザーをされていたそうですが、日本語や日本文化への思いから日本へ行き、NOVA の英語学校で 1 年間英語を教えられていたそうです。イギリスへ帰国後は、シェフィールド大学大学院で日本の翻訳を専攻されたようです。その後 JET プログラムを通して再び日本へ渡られ埼玉県の小中学校で語学指導助手を務められたそうです。ちなみに JET プログラムとは、語学指導等を行う外国青年招致事業で、外国の青年が日本に行き、英語教育の充実や地域の国際交流の推進に貢献する事業で、今年で 30 年目だそうです。

現在は、キースさんは自治体国際化協会ロンドン事務所のコミュニケーションマネージャーとして働かれていて、主に次の二つの仕事をされているそうです。

①日本の地方自治体のトピックスの英国地方自治体関係者などへの広報活動

②JET プログラムの卒業同窓会の活動を支援

そして、JET プログラムの魅力についてのお話を中心にしてくださいました。

JET プログラムは、英国大学卒業予定者にとっては、日本を体験するプログラムとしてとても魅力的なものなのだそうです。日本は四季があり、他の国と比

べると治安が良いこともあります。富士山、お祭り、生け花、書道、食べ物、スポーツ、日本国内旅行、カラオケ、コンビニ、温泉などの魅力があるようです。そして、今はオリンピックへの関与がモチベーションになっている方も多いようです。また、語学学校等でビジネスライクに働くのとは異なり、JET では、日本の小中高校生と交流をしたり、地域との交流も持ったりすることで、貴重な体験ができるそうです。そのような体験をした方々があとあと日本のための大使になったりするそうです。選考のプロセスには大使館が関わっていて、ビザ取得や研修サポートもあるようです。JET の参加者の英国帰国後のキャリアとしては、Teach First という教育チャリティでの教員や公務員、そしてトヨタやみずほ等の国際企業、ジャーナリズム、アカデミックへ進む道などがあるそうです。

最後に、JETAA という JET プログラムと繋がるネットワーク組織の説明もして下さいました。そこでは JET プログラム参加者が体験を語る会があったり、きものショーや落語等様々なイベントを実施されているようです。キースさんは、その組織のキャリアコーディネーター兼経理担当もされているそうで、在英日本人の会員登録も歓迎するし、日本企業の寄付も歓迎します、と笑って言われていました。

(参加者 19 名)

☆ ☆ ☆

11 月二水会のお知らせ

日時：1 月 11 日 (水) 18:30 より
講師：フジテレビ 特派員 佐野 純 (元米国ワシントン特派員)
演題：アメリカ大統領選挙について
会場：St. James's Church, 197 Piccadilly, London W1J 9LL
会費：£ 5 (JA 会員) £ 8 (非会員)
問合せ：nisiukai@japanassociation.org.uk (宮村)

☆ ☆ ☆

福祉部活動報告

支部報告

東支部からのお知らせ

早いもので 2016 年もあと一ヶ月となりました。皆様お元気でお過ごしでしょうか。

クリスマスデコレーションがあちこちで見られる時期となり、寒く暗い年末に何だか新しい希望の光を与えてくれるような気がいたします。北支部は下記の懇親会を予定してます。

日時：2017 年 1 月 14 日 (土) 12:30 より
会場：Hare & Tortoise (Blackfriars 支店) 90 New Bridge Street, London EC4V 6JJ
会費：£ 15 前後
担当者：田口晴恵 harue.t@hotmail.co.uk
山崎栄子 020-8858-9404
緊急連絡は 07840219028 (田口)
12 時半以降はレストランまで：02076510266

北支部懇親会のお知らせ

日時：2017 年 1 月 10 日 (火) 12:30-14:30

会場：Cocoro Restaurant

住所：31 Marylebone Lane, London W1H 2NH
(最寄駅：Bond Street)

Tel：020 7935 2931

会費：£ 15

担当者：ウィンター千津子/スコット純子

連絡先：020 8248 2883/020 8340 9063

E-mail: chizwinter@icloud.com

sumiko.scott@btinternet.com

北支部懇親会は、Cocoro Restaurant で行います。新年にちなみ例年のように御節のお弁当です。皆さん、ふるってご参加下さい。申し込みは、1 月 6 日 (金) までお願いいたします。申し込まれても不参加になる場合は、必ず、幹事までお知らせ願います。よろしくお願いいたします。会費はいつもより高めですが、お正月料理と言うことでご了承ください。

ナルク UK 活動報告

新入会員の皆様へ

この度はナルク UK にご入会いただきまして有難うございます。20 年前に日本に誕生したニッポン・アクティブ・ライフ・クラブ (略して NALC) は、「できることを」「できる時に」「できる方法で」をモットーに会員同士が助け合う時間預託システムの NPO 団体です。NALC UK は 2013 年に NALC との提携で英国日本人会 (JA) の傘下に設立されました。

会員の皆さまには入会時に時間預託の 10 ポイントが自動的に加算されます。積極的なご利用をお待ちしています。皆様の健康に役に立つワークショップも定期的開催されます。一緒に様々なチャレンジをしませんか。ご意見、お問い合わせは JA 福祉部ナルク担当までどうぞ。電話 07721201389 email: nalc london@gmail.com

福祉コラム

「丈自廣田と弟子の和太鼓」の演奏を聴いた。20 年以上変わらぬ若さとエネルギーを保つ彼のプロ意識と迫りに圧倒される一方、お弟子さんの大半が女性で占められていることに時代の変遷を実感した。丈自さんとの出会いは 1995 年に遡る。母校の同窓会が「能楽とエジプトのベリーダンスのコラボ」というとんでもなく前衛的な公演を支援した。その音楽を担当したのが、パーカッショニストとして活躍中の丈自さんだった。物議をかもしながらも公演は無事に終わった。口数が少なく物静かなたたずまいの内に情熱とパワーを秘めた丈自さんの知名度や実力が高まるのを一ファンとして見守ったものだった。今回の公演が、トラファルガー広場や、シェークスピア劇場のステージとは異なり、小さな教会だったことが幸いした。演奏者と客席最前列との距離が 1 メートル程度だったため、ダイナミックで勇壮な太鼓の響きが、心臓とシンクロし、体も魂も震えるような感覚を覚えた。12 人が見事なハーモニーで打ち鳴らす響きが重なりあう躍動感や高揚感に聴く者は一様に興奮した。どの演目にも懐かしさを感じるの、陣太鼓や鎮守の森の奉納太鼓の音色に、五穀豊穡や無病息災を祈ってきた日本民族の DNA に由来忘れな草 Web Page: <http://www.wasurenagusa.org.uk/>

するのだろう。和太鼓と日本人の精神との関わり
の深さをしみじみと思いながら聞き入ったのだった。
観客の半分以上を占めた英国人も興奮を隠さず、
「ファンタスティック!」「ブラボー!」と叫んで、
スタンディングオベーションで幕を閉じた。



関西大学と太鼓センターが「和太鼓の効用に関する
脳活動計測」という共同研究を行っている。太鼓を
打つことで脳に酸素を運ぶ酸素化ヘモグロビンが増
加し、能の機能が活性化されることが明らかとなっ
た。リラクゼーションや癒しの効果もあるという。
世界は EU 離脱だの、極右の米大統領誕生だの、と
混沌さを増す一方である。浮世の憂さを忘れさせ、
ストレスを解消させてくれる太鼓の響きで、しばし
心の平和を取り戻すのも悪くないだろう。産まれた
ばかりの赤ちゃんが、太鼓の音でスヤスヤと眠ると
いう。一説には、母親の胎内の音に似ているからと
も言われる。和太鼓の効能はすごいのである。頑張
れ丈自さん。(T)

尋ね人掲示板

連絡の取れない会員を探しています。お名前はスー
ザン・ヤスエ(保枝)フレッチャーさんです。お心
当 たり の あ る 方 は 、 福 祉 部
(takenaka@japanassociation.org.uk) またはナ
ルク UK 事務局(nalclondon@gmail.com または
077 2120 1389)までご連絡頂きたくよろしくお
願いいいたします。

☆ ☆ ☆

11 月度映画同好会報告

11 月 15 日(火) 13:00~

上映作品は市川崑監督『おとうと』(1960 年大映
京都)

幸せ薄い弟と勝気な姉の姉弟愛を美しい映像で描い
た市川崑の傑作。女学校に通う 17 歳のげんには三
つ下の碧郎という弟がいた。姉弟の父は作家で、仕
事に没頭して家のことは無頓着であった。

リ्यूマチを患う後妻の母は。子供たちと打ち解け
ずにいた。十分な愛情を与えられず、不良行為を繰
り返す碧郎をかばい、面倒を見るのは、もっぱら姉
のげんだったー。

幸田文の自伝的小説を原作とする水木洋子の名脚本
を市川崑監督が映画化し、キネマ旬報ベストワンを
始め多くの映画賞を受賞した作品。大正末期のノス
タルジックな雰囲気を出すために撮影の宮川一夫が
開発した”銀残し”という特殊な現像方法による映
像が見事であった。この為、『カンヌ国際映画祭高
等技術委員会賞』を授与された。

今回は年末でもあり、『男はつらいよ：寅次郎紅の
花』を上映します。

この作品は寅さんシリーズ 48 作品の最後の作品で
す。とても明るく、楽しい内容で、チョップリ物悲
しい、渥美清、山田洋次コンビの完結作品です。乞
うご期待!(文責渡邊)

☆ ☆ ☆

スケッチ会報告

例年なら 11 月からは室内になるはずだが最近
は写真を撮りその後家で完成する方法が多くなったの
で とりあえず秋の木の紅葉を楽しみましょう、とい
う事で Hyde Park Corner 駅に集合した。公園の南
側から入りサーペントインの池に沿って歩きながら
紅葉を楽しんだ。とは言ってもこの日は朝から雨。
それに寒さも加わってとてもスケッチなど出来る雰
囲気では無かったが、皆んなでお喋りしながら歩く
のは楽しい。オリンピックの時はトライアスロンの
コースだった道を歩き Lancaster Gate の方向に向
かった。今回のテーマは「秋の紅葉」それぞれの持
ち味での表現が楽しみだ。タイプを分けると写実派、
現実派、ロマン派、ポエム派、シンプル派などどん
どん個性的になってきている。次回は室内で静物を
描く予定。



クーパーのり子



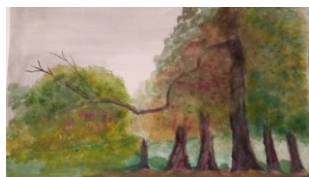
グリーブス邦子



古沢郁子



田口邦子



山本郁子



竹内みどり



全員集合

☆ ☆ ☆

同好会のお知らせ

1、開催日時 2、場所 3、住所 4、詳細
5、担当者 6、備考

<ウォーク>

12月はおやすみ

<合唱カラオケ>

- 1 12月1日(木) 13:00~16:00
- 2 カラオケ エポック
- 3 30 Brewer Street, London W1
徒波書房の奥
- 4 飲食持ち込み自由
- 5 竹内 07774 476 293
- 6 要予約

<スマホ/iPad/iPhone>

- 1 12月13日(火) 14:00~16:00
12月27日(火) 14:00~16:00
- 2 あべのレストラン地下
- 3 47 Museum Street, London WC1A
- 4 Wi-Fiの接続の仕方とアプリダウンロード
とその使い方などモニターで説明予定。講師なしの
情報交換の場です。初心者、中上級者の方も一緒に
楽しく皆んなで情報を披露しあいましょう。会費無料。
JA会員のみの参加可 15名程。
- 5 上田、浜口 rie036@gmail.com
- 6 自由参加 (JA会員のみのみ)

<スケッチ>

- 1 12月14日(水) 11:30~
- 2 あべのレストラン地下
- 3 47 Museum Street, London WC1A
- 4 静物 果物 花 など持参する
- 5 竹内 07774476293
- 6 自由参加 (JA会員のみのみ)

<映画鑑賞>

- 1 12月20日(火) 12:30~15:30
- 2 Farm street church 別館
- 3 114 Mount Street, London W1
- 4 「男はつらいよ」監督：山田洋次
主演：渥美清、浅丘ルリ子
- 5 渡辺 07783426113
竹内 07774476293
- 6 要予約
15:30~クリスマス パーティー兼忘年会
前回 好評だった バイオリンとアコーディオンの生演奏 他
軽食 あり
特別料金 £5~£6
パーティーだけ参加も 可 £4
(お茶 水 以外の飲み物(特にアルコール類)は各自持参)

皆さん『Freedom Pass』を大いに利用して外に出ましょ
う 見聞を広めて楽しみましょ 出たくなるのがボケの
始まり 同好会は会後のお茶や食事だけの参加も可
ぜひお出かけください。

☆ ☆ ☆

第19回食べ歩き会

日時：12月6日(火) 12:30~

場所：Tas Turkish Restaurant (Bloomsbury)

住所：22 Bloomsbury Street,
London WC1B 3QJ

Tel：(020-7637 4555)

参加ご希望のかたは

sumiko.scott@btinternet.com or
(020-8340 9063)にご連絡ください。

☆ ☆ ☆

広報部より

英国日本人会のウェブサイトが新しくなっています！

ナルクの活動も含め、さまざまな報告など順次アップデートしていきますので、是非ご覧下さい！

▼広告募集！！▼

『無料広告掲載』で、会員さんに割引や特典などを提供していただける広告主を募集しています！
ご興味のある方はこちらまでご連絡ください。

鈴木ナオミ

naomi.suzuki@japanassociation.org.uk

☆ ☆ ☆

文芸部からのお知らせ

『英国春秋』2017年春号

タイトル：フリー又は春号特集「私の好きな小説、詩歌、短歌・俳句」その他。出版物であれば何でも可

原稿締切：2017年3月20日(月)但し、締切前後に集中するくらいがありますので、原稿は常時受け付け

枚数：A4 2~3枚(出来ればワード・明朝・10.5添付)

送付先：ogawa@japanassociation.org.uk 又は
Mrs. M. Hodgson, 492 Canterbury Way, Herts. SG1 4ED

☆ ☆ ☆

英国日本人会、会報編集者急募

毎月発行しているJA ニュースレターの編集業務のお手伝いをしてくださる方を募集しております。

Microsoft Word の知識が多少必要ですが、特に難しい作業ではありません。

我こそはと思われる方は事務局までご連絡ください。

事務局：secretary@japanassociation.org.uk

☆ ☆ ☆

英国日本人会ガーンジー支部だより

活動報告 おにぎりプロジェクト

10月20日にガーンジー支部は Table for Two のおにぎりアクション2016キャンペーンプロジェクトに参加しました。

おにぎりアクション 2016 キャンペーンプロジェクトは作ったおにぎりを指定された SNS に投稿または、Table for Two のサイトに投稿することで、キャンペーンをサポートしている企業が写真一枚につき、100円を団体に寄付するという流れのシンプルな仕組みのプロジェクトです。

Table for Two 団体活動内容は以下の通りです。

Table for Two は「食」を通じて世界の食料・健康問題の解決に取んでいます。

TABLE FOR TWO は開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動です。

“TABLE FOR TWO”を直訳すると「二人のための食卓」。先進国の私達と開発途上国の子どもたちが食事を分かち合うというコンセプトの下、社員食堂や店舗で TFT ヘルシーメニューを購入すると、代金の内 20 円が寄付となり、飢えに苦しむ世界の子どもに給食 1 食分をプレゼントできます。

<http://jp.tablefor2.org>

世界食料デー期間中、100 万食をアフリカ・アジアに届けたい

世界の食料問題を考える日として国連が制定した日、それが毎年 10 月 16 日の「世界食料デー」。

世界の一人一人が協力しあい、「すべての人に食料を」を現実のものにし、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的としています。

<http://www.worldfoodday-japan.net>

TABLE FOR TWO では、毎年 10/16 世界食料デーから 1 か月半にわたり「100 万人のいただきます！」キャンペーンを開催し、期間中にアフリカ・アジアの子どもたちに 100 万食をプレゼントする事を目指しています。

100 万人のいただきます！キャンペーンサイト:

<http://jp.tablefor2.org/campaign/itadakimasu/>

「おにぎりアクション 2016」は、本キャンペーンの一環として開催。期間中(10 月 11 日～11 月 30 日)、対象商品の購入、写真の投稿が寄付に繋がり、アフリカ・アジアの子どもたちに温かい給食をプレゼントすることができます。(ホームページより抜粋)

ガーンジー支部では支部メンバーでおにぎり作りをし、作ったおにぎりはプロジェクトのために写真を取り、指定された SNS へ8枚の写真を投稿しました。

このプロジェクトは毎年開催されていて、おにぎりは日本に昔からある食文化であり、これからの支部活動の中に取り入れガーンジーの人に日本の食文化の紹介のきっかけになればと考えています。

ガーンジー支部代表 メイジャー 菜穂子

